

科目名	論理学	対象学生・時期	1年生・前期	
		講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 論理的思考及びその言語的表現について学ぶ 2. 思考の矛盾や妥当性を判断して処理する能力を養う 3. 事実を正しく解釈し言語的に表現する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	論理学の原理と概念	1. 人間の思考 2. 論理的思考	講義 演習	
2		3. 演繹的理論・帰納的推論の方法		
3	論理的思考と自己表現	1. 道筋を立てた表現の仕方		
4		2. 論理的な発言の基礎 3. 論理的に話すための用語		
5	論理的記述法	1. 論文の構成と組み立て 2. 論文の内容の基本		
6		3. 論文の読み方と活用		
7				
7.5	単位認定試験			
評価方法	レポート			
使用テキスト	・調べる技術・書く技術 講談社			
備考				

科目名	情報科学		対象学生・時期	1年生・前期
			講義時期(単)	30時間(1)
講師名	非常勤講師			
科目目標	医療と看護の高度情報化に対応できるようになるために以下のことを目標として学ぶ 1. 看護師にとっての情報の活用・管理と情報倫理の必要性を学ぶ 2. 看護の現場において必要とされるコンピュータやインターネットの知識と Word、Excel、Powerpoint の活用ができる 3. 統計学の基本的知識と Excel による統計解析の基礎技術を習得する			
回数	主題	主な学習内容		授業形態
1	1. 高度通信情報社会と医療・看護の情報化	(1) 高度情報通信社会への対応のしかた (2) 看護におけるコンピュータの活用 (3) IT と ICT と IoT の違い (4) 看護師における ICT の活用 (5) 病院における看護情報システム (6) 看護管理業務の情報化システム (7) 地域社会における看護情報ネットワーク (8) 遠隔医療と遠隔看護 (10) 情報化社会における個人情報の保護		講義 演習
	2. コンピュータの動作原理	(1) パソコンの基本的な構成内容 (2) Windows OS が立ち上がるまでの処理の流れ (3) Windows 上でプログラムが実行されるまでの処理の流れ		
2~3	3. ネットワークリテラシー	インターネットの正しい使い方 (1) インターネットの仕組み (2) ホームページ, 電子メール, ブログの仕組み (3) 電子掲示板, SNS, ショッピングサイトの仕組み (4) ウイルスの感染経路と主な活動		
		利用する上でのモラル (1) ネットワーク+エチケット=ネチケット (2) インターネットの安全な歩き方 (3) ウイルスに感染しないために (4) 不正アクセスに遭わないために (5) 詐欺や犯罪に巻き込まれないために (6) SNS 利用上の注意		
		情報倫理と情報セキュリティ (1) 情報倫理の歴史 (2) インターネット上の倫理問題 (3) ネットワーク社会の不正行為に対する法律 (4) 事故・被害の事例 (5) インターネットトラブルの相談窓口		
4~12	4. コンピュータリテラシー	(1) Word 基本操作 (2) Excel の基本操作 (3) テーブルとオートフィルタ (4) データ入力のコツ (5) ピボットテーブルの使い方 (6) ピボットテーブルでアンケート分析 (7) アンケートの相関係数 (8) PowerPoint の基本操作		
13~15	5. 統計解析の基礎	ハンバーガーショップで学ぶ統計解析 (1) 平均、度数分布、分散、標準偏差 (2) 母集団との平均と分散を推定する (3) 区間推定、信頼区間 (4) カイ 2 乗値とカイ 2 乗分布 (5) カイ 2 乗検定		
評価方法	講義中に行う演習問題の成績, 出欠状況, 受講態度にもとづき総合的に評価を行う。			
使用テキスト	「30 時間でマスター Office2019」 実教出版(株) プリント「情報科学」を配布する。			
備考				

科目名	人間工学	対象学生・時期	1年生・前期	
		講義時間(単位)	15時間(1)	
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 人間を取り巻く環境や日常生活動作、作業の効率性・安全性について力学的視点から理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	人間の形態的特徴と筋力的特徴	1. 力とつりあい 1) 質量と重力加速度 2) ベクトルの加法と減法	講義	
2		2. 動体力学 1) 運動の法則とトルク(回転効果) 2) てこの原理、摩擦力		
3		3. 姿勢と生活動作 1) 力学的エネルギー 2) 重心・支持基底面		
4		3) 重心と安定性 4) 姿勢と動作		
5	ユニバーサルデザイン	1. 人体寸法と機器・道具との関係 2. バリアフリー・ノーマライゼーション・ユニバーサルデザインについて		
6	安全管理	1. 医療における人間工学の活用 2. 作業の安全性		
7		3. 事故防止		
7.5	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	看護動作を助ける基礎人間工学 東京電機大学出版局			
参考文献	系統看護学講座 基礎分野 物理学			
備考				

科目名	教育学		対象学生・時期	1年生・後期	
			講義時間（単位）	30時間（2）	
講師名	非常勤講師				
科目目標	1. 人間形成における教育の機能を理解する 2. 人間の持つ力を引き出すための教育の意義・方法を理解する				
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当	
1	人間の成長と教育	1. 教育学とは何か・教育学的思考 2. 教育の役割と機能（社会化論） 3. 教育の作用と学校史	講義		
2		4. 欧米の教育思想小史概観 ー子ども観の観点からー 5. コメニウス・ルソー・デューイに見る 子どもの人間学・教育学 6. 自己教育力を育てる必要性			
3	家庭・社会と教育	1. 家庭教育 2. 生涯教育と社会教育			
4		3. 学校教育の制度			
5	現代教育の諸問題	1. 現代教育問題（いじめ・不登校） 2. 問題解決への取り組み（法律）			
6	教育及び学校の本質と構造	1. 憲法・教育基本法 2. 教育の目的・内容・方法・価値			
7		3. 教育の課程・領域・方法と技法 1) 近代公教育（学制～国民学校） 2) 戦後学校教育の体制と改革論議 4. 学習指導要領			
8		1. 学習指導 1) 指導者の役割と姿勢 2) 学習を設計する 2. 教育の方法・技法 1) 効果的な学習の型 2) 導入・展開・まとめ			
9	教育方法	3. 教育方法の実際			
10					
12		教育評価			1. 教育評価の意義
13					2. 教育評価の方法
14	3. 評価の開発と実践				
15	単位認定試験 まとめ				
評価方法	筆記試験				
使用テキスト	系統看護学講座 教育学 医学書院				
備考					

科目名	心理学		対象学生・時期	1年生・前期
			講義時間（単位）	30時間（1）
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 人間の心の仕組みや、状況によって変化する心と身体の様態を学ぶ 2. 自己理解・他者理解の方法を理解する			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	心理学とは	1 心理学とその歴史 2. 心の動き 3. 心と行動のメカニズム	講義	
2	心理学の基礎概念	1. 知覚の心理		
3		2. 記憶の心理		
4				
5		3. 発達心理		
6				
7				
8		4. 学習の心理		
9				
10		5. 性格心理学		
11		6. 社会心理学		
12		7. 臨床心理学の基礎		
13		心理学における問題		
14	人格へのアプローチ	1. 心理・発達・知能・人格検査 2. カウンセリング		
15	単位認定試験 まとめ			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	系統看護学講座 「心理学」 医学書院			
備考				

科目名	社会学		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間（単位）	15時間（1）	
講師名	非常勤講師				
科目目標	1. 社会的存在としての人間を理解する 2. 家族の機能について理解する 3. 社会の構造・機能や変化を通して、個人・家族・集団の関係を多角的に学ぶ 4. 世界の様々な民族の社会・文化を学び、自らの文化を考える				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	人間と社会	1. 社会学とは 2. 社会学的想像力を養う 3. 現実社会での役立ち方 4. 人間とは何かー社会と文化 5. 人間とは何かー社会化		講義	
2		6. 人間のライフサイクル 7. 個人と社会 8. 集団と社会 9. ジェンダー			
3	家族の機能と役割	1. 家族とは 2. 家族の様々な形 3. 日本の家族の変化 4. 家族の機能と役割 5. 家族にまつわる様々な問題			
4	地域社会	1. 地域社会とは 2. 地域社会の歴史的変遷 3. 集団の機能と変化 4. 地域における人間関係			
5		5. 高度経済成長と地域社会 6. 都市化と都市的生活様式 7. 自助・互助・共助・公助の意義と役割			
6	職業と社会	1. 職業とは 2. 職業と職業集団			
7	現代社会と文化の特徴	1. 現代社会の特徴 2. 現代社会の形成過程 3. 異なる文化・価値観			
7.5	単位認定試験				
評価方法	筆記試験				
使用テキスト	資料配布				
備考					

科目名	倫理学		対象学生・時期	1年生・前期	
			講義時間（単位）	30時間（2）	
講師名	非常勤講師				
科目目標	1. 倫理的なものの見方、考え方の基礎知識を学び、人間としてのあり方・生き方について考える 2. 相手を尊重し、倫理に基づく行動の基礎を身につける				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	倫理「学」とは何か	1. ガイダンス（成績評価方法など） 2. イントロダクション（講義概要）		講義	
2	倫理「学」の対象	1. 倫理的行為と倫理的判断 2. 倫理（学）と法（学）の区別 3. 看護倫理・生命倫理の対象			
3	行為の善悪と幸福の最大化	1. 功利主義の歴史 2. 功利主義の長所と短所			
4	行為の善悪と動機の純粹さ	1. 義務論の歴史 2. 義務論の長所と短所			
5	行為の善悪と有徳さ	1. 徳倫理学の歴史 2. 徳倫理学の長所と短所			
6	行為の善悪と社会的平等	1. 現代の正義論の展開 2. 正義論的思考の日常への応用			
7	行為の善悪を観察するとは	1. メタ倫理学の展開 2. メタ倫理学的思考の日常への応用			
8	中間総括	1. 第7回までの内容の総括 2. 期末レポート課題の内容と書き方			
9	倫理学の重要概念の検討① ：自由	1. 「自由」とは何か 2. 「自由」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答			
10	倫理学の重要概念の検討② ：人権	1. 「人権」とは何か 2. 「人権」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答			
11	倫理学の重要概念の検討③ ：尊厳	1. 「尊厳」とは何か 2. 「尊厳」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答			
12	倫理学の重要概念の検討④ ：信頼	1. 「信頼」とは何か 2. 「信頼」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答			
13	倫理学の重要概念の検討⑤ ：ケア	1. 「ケア」とは何か 2. 「ケア」に関連した現代生活における倫理的問題の検討と応答			
14	倫理的問題の解決のための思考法と技術	1. 倫理的思考法(第13回までの総括) 2. 倫理的思考をより正確に行う技術			
15	実際に倫理的に行為するための方法	1. 倫理的判断と倫理的行為の違い 2. アクラシア（分かっているのにやめられない）問題の克服方法			
評価方法	授業参加状況・課題レポートほか				
使用テキスト	プレップ倫理学 弘文堂				
備考	<参考文献> 『入門・倫理学』、赤林朗ら編、勁草書房、2018年。（その他、授業で適宜紹介します）				

科目名	人間関係論	対象学生・時期	1年生・前期			
		講義時間(単位)	30時間(2)			
講師名	非常勤講師					
科目目標	1. 人間関係形成の基礎を理解する 2. 人間関係を発展させるコミュニケーション技法を学ぶ					
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当		
1	コミュニケーション	1. コミュニケーションの意義 2. コミュニケーションの構成要素と種類 3. コミュニケーション技法 1) カウンセリング 2) コーチング 3) アサーティブネス	講義			
2	看護における人間関係	1. 闘病生活を支える人間関係 2. 家族の人間関係と看護師の関わり				
3	社会的相互役割と社会的役割	1. 社会的相互作用 2. 社会的役割				
4		3. 援助的役割を実現するためのガイドライン				
5	人間存在と人間関係	1. 人間関係のとらえ方の次元 2. 人間関係の基本的意義 3. 看護ケアや社会福祉援助における人間関係のとらえ方				
6		4. 人間関係の発達 1) 現代社会と人間関係 2) 人間関係分析の視点 3) 自己理解と他者理解 4) 援助的人間関係				
7		4. 自己理解と他者理解				
8		5. 闘病生活を支える人間関係 1) 患者家族と保健医療従事者 2) 疾病各期における人間関係				
9		終末期の患者と家族を支える人間関係			1. 終末期にある患者の心理プロセス 2. 悲嘆のプロセス 3. 終末期にある患者の人間関係の変化 4. 患者との相互関係の構築とケア	
10						
11	カウンセリング	1. カウンセリングに関する理論と実践 2. カウンセリング演習 3. 創造的人間関係とワーク			講義 演習	
12						
13						
14						
15	単位認定試験 まとめ					
評価方法	筆記試験 レポート					
使用テキスト	・系統看護学講座 人間関係論 医学書院					
備考						

科目名	英語 I		対象学生・時期	1年生・後期
			講義時間(単位)	15時間(1)
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 日常場面における基礎的な英会話を学ぶ			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	・看護・医療の現場における英会話 ・医療現場に必要な英単語 Listening and Dictation	テキストの使い方、英語学習の進め方・ 取り組み方などの説明 Unit 1 電話予約 基礎文法 動詞 現在形 会話練習 1	講義	
2		Unit 2 受診手続き Human body 1 人体 基礎文法 動詞 過去形 会話練習 2		
3		Unit 3 診察の順番待ち Human body 2 人体 基礎文法 動詞 未来形 会話練習 3		
4		Unit 4 再診 Human body 3 臓器 基礎文法 動詞 進行形 会話練習 4		
5		Unit 5 入院の指示 Medical Terminology I 基礎文法 現在完了 会話練習 5		
6		Unit 6 入院手続き Medical Terminology II 基礎文法 現在完了 会話練習 6		
7		Unit 7 患者に質問 Unit 8 入浴の許可 試験についての説明		
7.5		単位認定試験		
評価方法	単位認定試験			
使用テキスト	New 20 Healthcare Dialogs 鷹書房弓プレス			
備考				

科目名	英語Ⅱ		対象学生・時期	2年生・前期	
			講義時間(単位)	15時間(1)	
講師名	非常勤講師				
科目目標	1. 看護の場における基礎的な英会話を学ぶ				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	医療・看護の現場に基づく英文読解・英文音読 文法・会話	Unit 9 薬の指示 基礎文法 助動詞1 会話練習1 Medical Terminology		講義	
2		Unit 10 検査の指示 基礎文法 助動詞2 会話練習2 Medical Terminology			
3		Unit 11 Internal Medicine 基礎文法 疑問文1 会話練習3 Medical Terminology			
4		Unit 12 Surgery 基礎文法 疑問文2 会話練習4 Medical Terminology			
5		Unit 13 Pediatrics Unit 14 Dentistry 基礎文法 受動態1 会話練習5 Medical Terminology			
6		Unit 15 Ophthalmology Unit 16 Otolaryngology 基礎文法 受動態2 会話練習6 Medical Terminology			
7		Unit 17 Obstetrics and Gynecology 試験についての説明			
7.5	単位認定試験				
評価方法	単位認定試験				
使用テキスト	New 20 Healthcare Dialogs 鷹書房弓プレス				
備考					

科目名	健康科学		対象学生・時期	1年生・前期
			講義時間（単位）	15時間（1）
講師名	非常勤講師			
科目目標	1. 健康維持にとってのスポーツの役割を理解する 2. 健康な生活を送るために必要な身体運動の実際を学ぶ			
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	健康づくりと運動	1. 運動の目的 2. 健康管理と運動	講義	
2		3. 発達段階・性別・経験にあわせた運動の必要性 4. 運動の種類と効果		
3	実際の運動	1. 自分の身体と向き合おう 2. ストレッチ 3. 簡単トレーニング（ピラティス）	実技	
4		4. 簡単球技（バレーボール）		
5				
6				
7	5. 簡単球技（バスケットボール）			
7.5	単位認定試験			
評価方法	筆記試験			
使用テキスト	資料配布			
備考				